



授 業 計 画 書

教科名 : **エンジン実習 1**

2023年度

実習

国際自動車整備科

時 期 : 1年

A巡

科 目 : 自動車整備作業

時間数 : 20時限 (32時間)

<改訂履歴>

| 改訂年度 | 改訂事由 | 発行日/担当 | |
|------|------|--------|----|
| FY21 | 新規 | 3月1日 | 小山 |
| FY22 | | | |
| FY23 | | | |
| FY24 | | | |
| FY25 | | | |
| FY26 | | | |

| 教頭 | 課長 | 学年統括 | 教科担当 | 教科担当 |
|----|----|------|------|------|
| | | | | |

| 時期 | 1年A巡 | 単元 | 実習 | 教科名 | エンジン実習 1 | |
|-----|------------|-------------|-----------------------------|-----|----------|----------|
| 科目 | 自動車整備作業 | 教科書等 持参品 | 三級自動車ガソリン・エンジン 基礎自動車整備作業 | | 発行日 | 2021.3.1 |
| 総時間 | 20時限(32時間) | | | | 教科担当 | 合田 英昭 |

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 ・ 非該当

自動車整備士としてエンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの点検について指導する

2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)

自動車整備士の学習に必要な基礎知識、技術を指導する

3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか)

1. 自動車整備に必要な用語を知る
2. 自動車整備に必要な部品名称を読むことができる
3. 自動車整備に必要な部品の作動を実物で確認する。また、作動を日本語で説明できる
4. 自動車整備に必要な整備機器の取り扱いができる。
5. 自動車整備に必要な工具の名称を読むことができる
6. 自動車整備士として必要な安全知識を得る。
7. 自動車整備を行う上で必要となる協力作業を理解する。

4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)

・筆記試験で60点以上を合格とする。

5. 準備学習

毎回の授業開始前までに、授業で進む予定のところまでルビを振るなど、声を出して読めるようにしておくこと

